
天使の背中

朔

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

天使の背中

【Nコード】

N8025C

【作者名】

朔

【あらすじ】

三角関係の末、それぞれの想い。独白に想いを綴ります。アナタは誰の想いにひかれますか？

(前書き)

独白ですので物語を期待して来た方は回れ右です
|・)
||
||
(
・

信じてても信じなくても裏切られるなら
私は信じたかった

でもね、
私にも限界があつたんだ

ずっとつかまえたかったキミの背中

遠ざかっていくのが分かつていた
きつとキミは去って行く
キミとアノヒトが惹かれ合つのが分かつていた
身を引いてあげられたらキミはそんなに苦しまなかったかもしれな
いね

でも、
私はそんなにオトナじゃない
私はそんなにキレイじゃない
視ないフリしか出来なかった

ゴメンね オメデトウ
は言えないや

私はワタシを抑えるので、立っているので精一杯
自分の手を握り締めて胸の痛みを押し込める

イキガデキナイ
キミガイナイ

キミをうしなつたワタシは
羽がない天使のように
地面にただ
立ち尽くすだけ。

キミが想ってくれてるのは知っていた

キミが本当に大切に

キミに負けないくらい僕もキミを想っていたんだ

でも、アノヒトと出会ってしまった

僕にはどおしよおもない程にアノヒトに惹かれた

キミを想う気持ちと異なる気持ちが芽生えた
僕はそれをとめる術を知らない

キミを傷つけてしまうのは分かっていたけど
僕の後ろを追い掛けるキミを知っていたけど振り向く事が出来な
かった

キミをうしなつても欲しいモノがあるんだ

キミは本当にキレイだから
キミの笑顔が好きだったから

振り返る勇気がなかった

ゴメンなんて言わないゴメンなんて言えない

背中から伝わるキミの気持ち

僕はずっとキミを思うよ

こんなに僕を想ってくれたキミを

背中にキミへのオモイを乗せて

貴方は私が憎いでしょうね

あの人に運命を感じてしまった

あの人も私を見つけてくれた

あの人に貴方がいるのは分かっていた

どんなに恨まれてもいい

どんな事を言われても構わない

それであの人と一緒になれるなら

私は何だって耐えられる

貴方に悪いと思ったりしない

そんな事は貴方を惨めにさせるから

私はあの人についていく覚悟を決めたの
あの人となら地獄に堕ちたっていい

あの人が築く道を
あの人が翔ぶ空を

私が隣に立って進む

あの方は優しいから貴方をきつと忘れない

私の手をとってくれても貴方という存在があの人の中にある

私にもし羽があったら

貴方を見つけれない場所へと翔んでしまえるのに

私にもし羽があったら

私の羽であの人の眼を塞いでしまえるのに

私にもし羽があったら

天使にもなれたのかしら

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8025c/>

天使の背中

2010年10月23日13時25分発行